

広島市立大手町商業高等学校 沿革

大正 8 (1919) 年6月	広島市商業補修学校として創立。(広島市で唯一の夜間商業教育機関)
大正13 (1924) 年4月	広島市商業専修学校と改称。
昭和10 (1935) 年3月	広島市立商業専修青年学校と改称。
昭和12 (1937) 年3月	広島市第二商業学校と改称。
昭和16 (1941) 年3月	広島市立第二商業学校と改称。
昭和23 (1948) 年5月	学制改革により、広島市商と合併、広島市商業高等学校定時制に改編。
昭和24 (1949) 年4月	高校再編成により、広島県広島基町高等学校定時制に改編。
昭和29 (1954) 年9月	基町高校より分離し、広島県広島市商業高等学校に改編。 (全国的に数少ない独立の夜間商業学校)
昭和34 (1959) 年4月	広島県広島大手町商業高等学校と改称。
昭和43 (1968) 年3月	商業科特別教室、家庭科教室、礼法室等の改修及び運動場の証明の増設。
昭和45 (1970) 年9月	全国定時制高等学校珠算競技大会珠算部優勝。
昭和55 (1980) 年4月	広島市の政令市指定に伴い広島市立大手町商業高等学校と改称。
昭和58 (1983) 年9月	格技場竣工。被服教室、情報処理室の整備。
平成 元 (1989) 年2月	総合実践室竣工。
平成 4 (1992) 年5月	OA教室の整備。ワープロ21台、パソコン21台整備。
平成 7 (1995) 年4月	大学入学資格検定併用による3年卒業が許可。
平成10 (1998) 年2月	技能審査・実務代替による単位認定の導入。
平成10 (1998) 年4月	聴講生制度を導入。
平成10 (1998) 年9月	パソコンを47台に増設。
平成11 (1999) 年11月	創立80周年記念式典を挙行。
平成13 (2001) 年4月	次世代IT事業により、校内LAN等が整備され、インターネット接続開始。
平成14 (2002) 年4月	単位制高校に移行。
平成15 (2003) 年5月	スクールカウンセラー設置。
平成16 (2004) 年1月	トレーニング機器の設置。
8月	グラウンドの照明及び砂の改修。3PCのパソコン40台整備。
平成17 (2005) 年2月	音響装置の更新。配電・配線の改修。
8月	校舎屋根の改修。
平成18 (2006) 年8月	パソコン40台更新。給食室の冷房改修。
平成21 (2009) 年11月	創立90周年記念式典を挙行。
平成22 (2010) 年4月	パソコン40台更新。
平成25 (2013) 年4月	学科改編により、1学年次、昼・夜間部2クラス(ビジネス創造科)設置。
平成28 (2016) 年4月	すべての年次で昼・夜間部設置。
令和元 (2019) 年11月	創立100周年記念行事を実施。
令和3 (2021) 年3月	閉校。